

教科・科目		対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・音楽Ⅰ		2	2	音楽Ⅰ改訂版 Tutti＋ (大修館書店)	なし
目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。		自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。		主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
評価	・ 定期考査や実技テストの結果と課題の内容から「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 授業や課題の取り組み状況から「主体的に学習に取り組む態度」評価する。				
学期	学習内容（単元）		到達目標		
1	1 歌声を響かせよう 2 楽器を知ろう 3「きらきら星」を変奏してみよう 4「ボレロ」の魅力を探ろう		・ フレーズやクライマックスを意識して歌うことができる。 ・ 色々な楽器の仕組みや音について調べたり知ったりすることができる。 ・ リズムや音の高さを変え、変奏曲を作ることができる。 ・ オーケストラの多彩な響きを感じることができる。		
2	5 日本歌曲に親しもう 6 楽器の演奏を楽しもう 7 総合芸術の魅力を探ろう 8 名曲プレゼンテーション		・ 曲の構成について考え、ふさわしい表現を工夫する。 ・ 楽器の奏法を基礎から学び、簡単な曲が演奏できる。 ・ 総合芸術の音楽の役割について考えたり調べたりしてまとめることができる。 ・ プレゼンテーションソフトを用いて名曲についてまとめたことを発表することができる。		

3	9 外国語の歌に親しもう	・イタリア歌曲、ドイツ歌曲、フランス歌曲等に触れ、発音やフレーズを意識して歌うことができる。
	10 和楽器の演奏を楽しもう	・箏の基本的な奏法を確認しながら簡単な曲を演奏することができる。
	11 世界の声の音楽と世界の楽器の音楽	・世界の声や楽器の音色や響きを聴き取り、特徴を知ることができる。